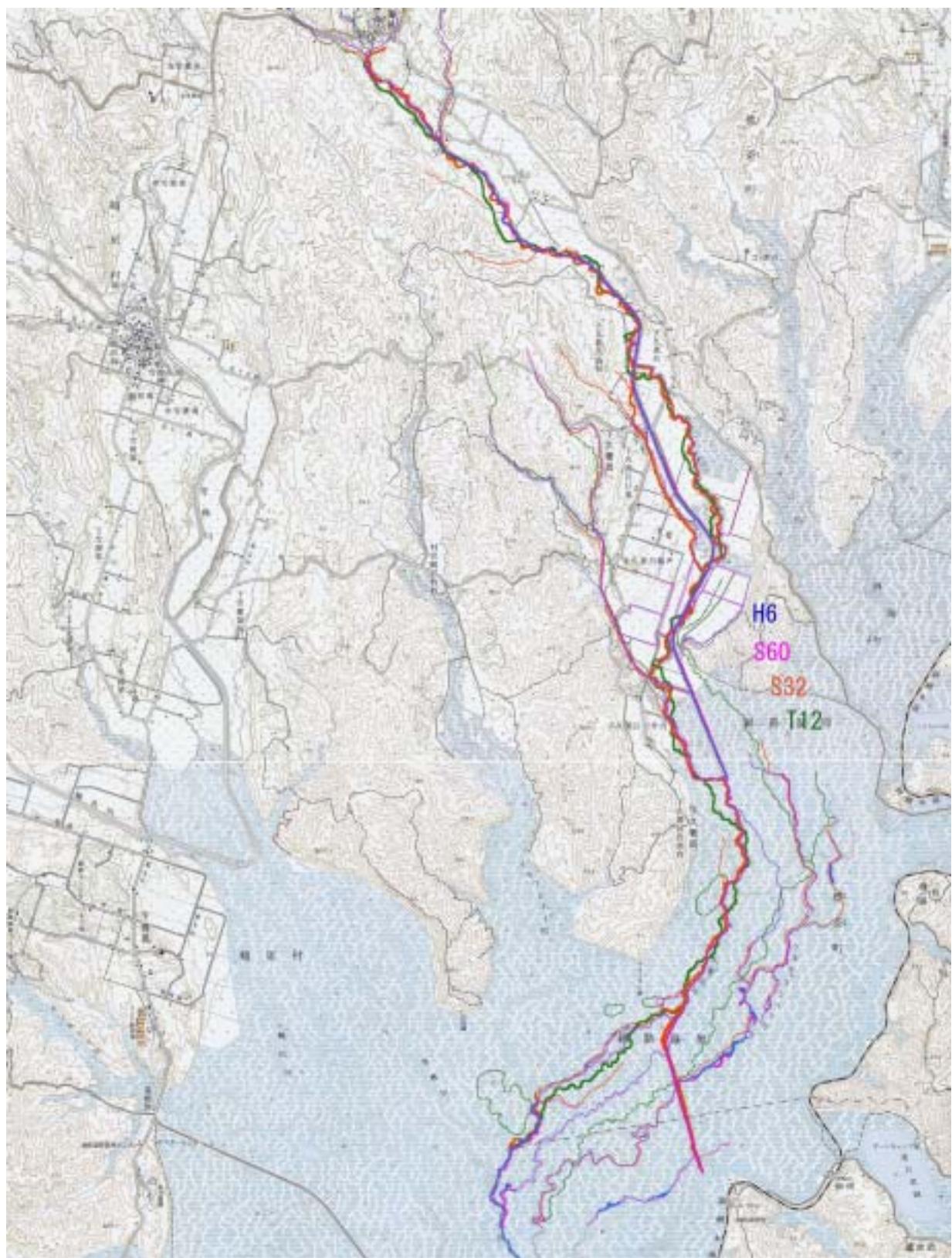
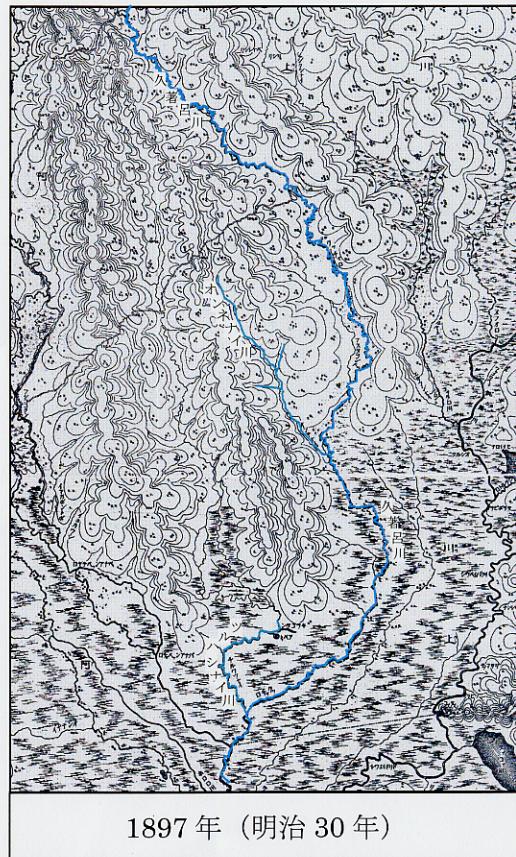
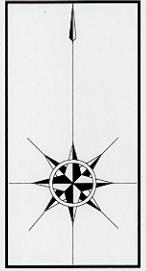


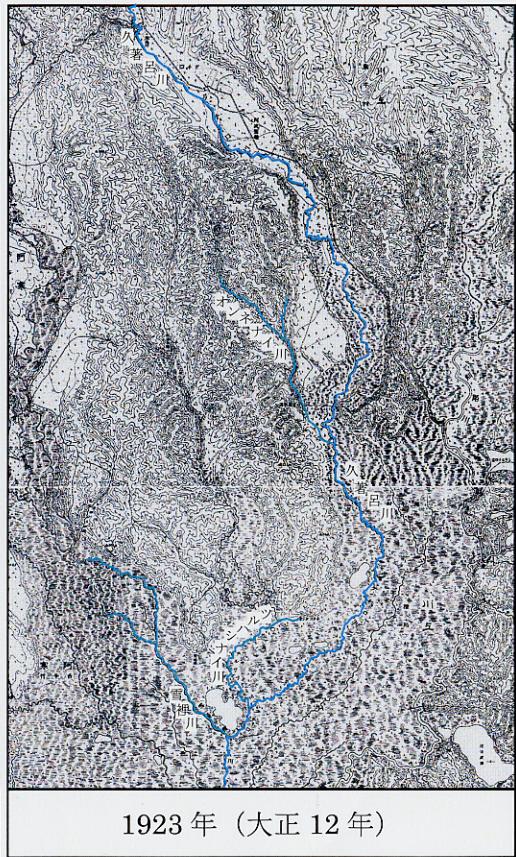
参考資料 - 3 久著呂川流域の変遷に関する資料



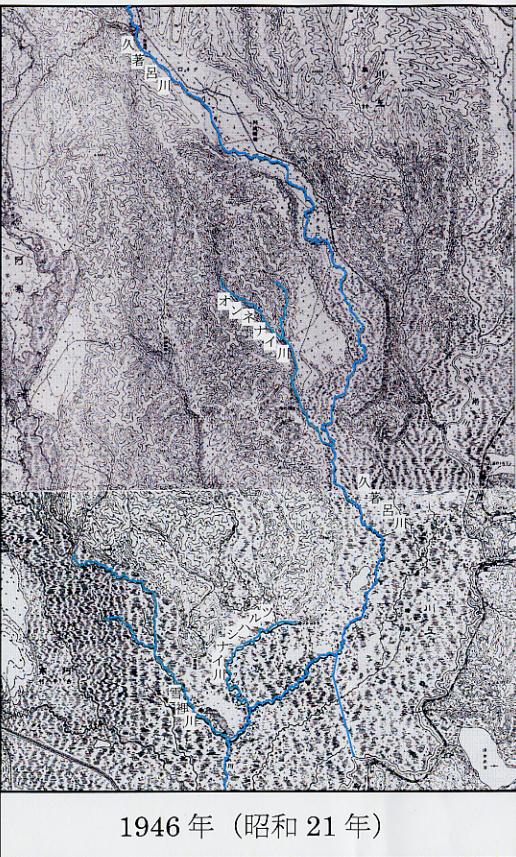
流域の変遷（大正 12 年～平成 6 年） 縮尺 1 / 100,000



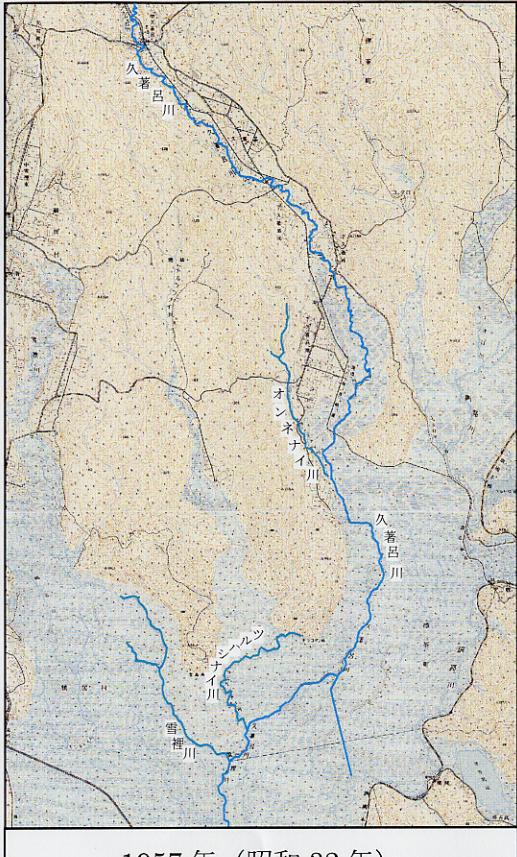
1897年（明治 30年）



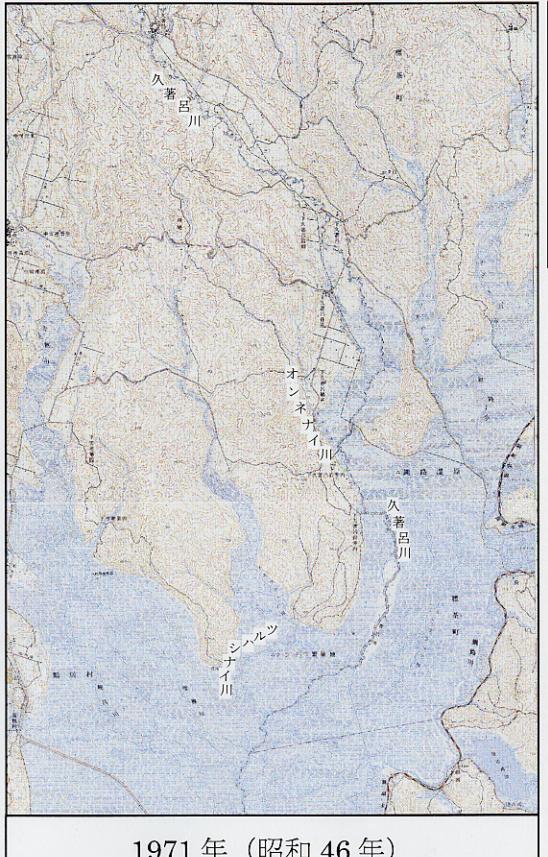
1923年（大正 12年）



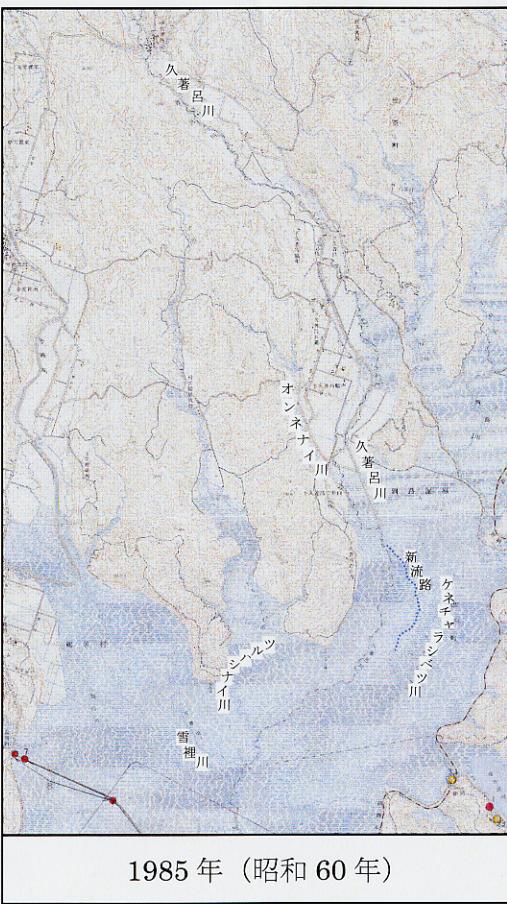
1946年（昭和 21年）



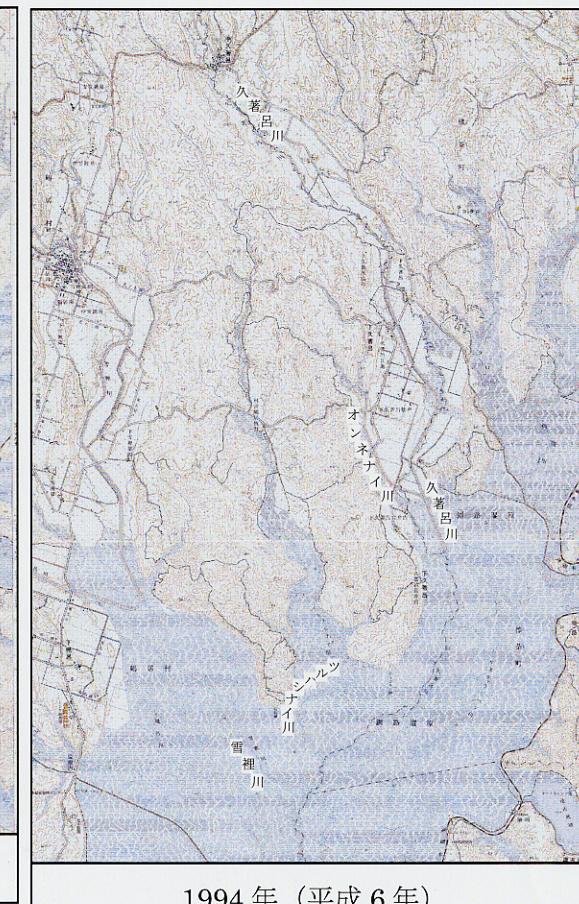
1957年（昭和 32年）



1971年（昭和 46年）



1985年（昭和 60年）



1994年（平成 6年）

久著呂川流域年表

西暦	主な出来事	西暦	地形図から読み取れる変化
1904年	久著呂入植 下久著呂青山農場に12戸	1946 ～1957年	ツルハツナイ川との合流点より2～3km および約5km 上流で久著呂川右岸に点在していた沼が陸化した。
1915年	久著呂地区 159戸	1957 ～1971年	オンネナイ川合流点より下流約3～6km の区間で久著呂川両岸が乾燥し、広葉樹が生育している。（これ以後の地形図では湿原の表示に戻っている。）
1920年	釧路川大洪水		
1921年	釧路川新水路着手		
1927年	40戸入地		
1930年	釧路川新水路完成、久著呂川新水路切替工事着手		
1931年	久著呂川新水路切替工事完成		
1969 ～1972年	道営開拓パイロット事業 農耕地造成 119ha、暗渠排水 110ha、他	1971 ～1985年	改修後の久著呂川で直線化された河道の下流に新しい流路が生じ、久著呂川の東側を並行して流れるケネチャラシベツ川方向に流れている。
1972 ～1975年	国営土地改良事業 久著呂第二地区 対象面積 1,059ha、幹線排水溝 9,210m、 久著呂川改修 6,720m、オンネナイ川改修 2,490m、 支川排水溝 3条 2,960m、小明渠 324ha、暗渠 330ha、他		
1973 ～1976年	道営農地開発事業 標茶町下久著呂岩井内地区 対象面積 201ha（湿原部 147ha）、 明渠排水溝 1条 828m、暗渠排水 201ha、他		
1975 ～1977年	道営草地開発事業 標茶町久著呂地区 対象面積 134ha（湿原部 78ha）、道路 2.7km、草地造成 110ha、他		
2000 ～2006年	国営総合農地防災事業 鶴居第一地区 受益面積 519ha、排水路工 7.0km、暗渠排水工 508ha、他		